

平成 23 年 11 月 20 日

報道機関各位

国土交通省中部地方整備局  
富士砂防事務所

お知らせ

1. 件名

平成 23 年 11 月 19 日前線通過に伴う豪雨後の点検結果  
ー富士山大沢崩れで小規模な土石流が発生ー

2. 概要

平成 23 年 11 月 19 日未明から深夜にかけ、前線を伴った低気圧が本州上を東に進み、静岡県内でも各地で激しい雨を記録しました。

富士砂防事務所では、今回の豪雨をうけ、管内の溪流・施設の点検を実施しましたが、主要な溪流については災害に繋がるような変状は確認されませんでした。

なお、大沢川においては 19 日午後 12 時 48 分頃、大滝地点（標高約 1,500m）に設置しているワイヤーセンサーの切断を検知し、監視カメラで状況を確認しましたが、下流の大沢川扇状地（標高 900m より下流）へ土石流が流下した状況が確認されました。一方、大沢川扇状地より下流への土砂流出は見られず、全量を捕捉しました。

富士山大沢崩れには、平成 16 年 12 月以後大規模な土石流の発生がなく、約 40 万 m<sup>3</sup> の土砂が堆積しているものと推定しており、今後も富士砂防事務所では大雨時に監視を行います。

3. 添付資料

- ・ 気象概況
- ・ 点検結果
- ・ 大沢で発生した土石流について

4. 記者発表資料配付先

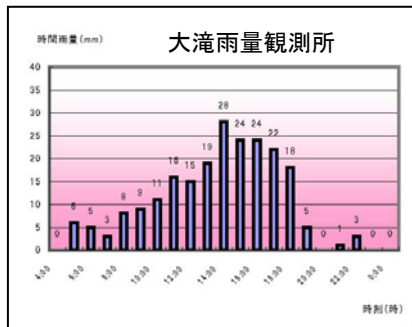
富士宮市記者クラブ、富士市記者クラブ

5. 問い合わせ先

富士砂防事務所 副所長 小林 武 TEL : 0544-27-5221

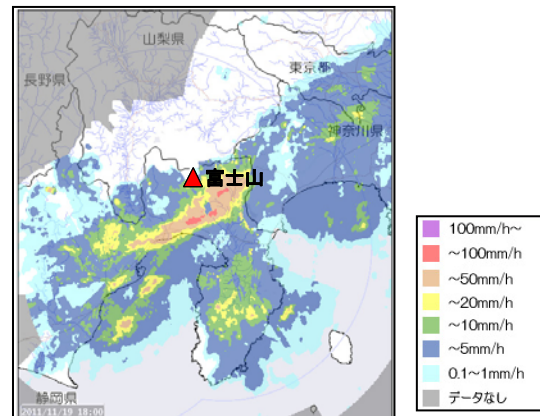
## 1. 気象・降雨状況

管内では、静岡県富士市の勢子辻観測所（標高：980m）において19日18時に33mm/hを観測し、降り始めからの総雨量は233mm、また、静岡県富士宮市の二合目観測所（標高：1,380m）では19日14時に32mm/h、総雨量270mmに達しました。今回の降雨で大沢川扇状地（静岡県富士宮市）に土砂が流出しましたが、被害はありませんでした。



日雨量：217mm（11月19日）

時間最大雨量：28mm（13～14時）



XバンドMPレーダー雨量情報

（11月19日18時）

## 2. 施設点検の結果

富士砂防事務所管内でまとまった降雨を観測したため、20日（日）早朝より施設点検を実施した結果、大沢扇状地において土砂を捕捉した状況が確認されました。

その他の施設については大きな異常は確認されませんでした。



施設点検結果

富士宮市内風祭川



平成 23 年 9 月



今回点検

富士市内凡夫川



平成 23 年 9 月



今回点検

富士市内須津川



平成 23 年 9 月



今回点検

○大沢川扇状地 第7上流床固工



出水前

平成 23 年 9 月 22 日 (台風 15 号後) の状況



出水後

平成 23 年 11 月 20 日 流出した土石の堆砂状況

○大沢川扇状地 第8上流床固工



出水前

平成 23 年 9 月 22 日 (台風 15 号後) の状況



出水後

平成 23 年 11 月 20 日 流出した土石の堆砂状況

○大沢川扇状地 監視カメラ（岩樋）



平常時

岩樋上流カメラ平常時の状況



出水時

岩樋上流カメラ出水時の状況（11/19 16:37）